

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標2\_健康・福祉】

施策 2-5\_社会保障の充実

	基本計画	事業番号	細事業名称
2-05-01	生活の安定と自立に向けた支援	03520_01	生活困窮者自立支援事業
2-05-02	介護保険制度の円滑な運営	00315_01	介護保険システム改修事業
2-05-02	介護保険制度の円滑な運営	00344_01	介護相談員派遣事業
2-05-02	介護保険制度の円滑な運営	03347_01	(施)介護保険事業特別会計繰出金
2-05-03	国民健康保険事業の健全な運営	00196_01	特定健康診査等事業
2-05-03	国民健康保険事業の健全な運営	00369_01	傷病手当費
2-05-03	国民健康保険事業の健全な運営	03160_02	国民健康保険財政安定化支援事業繰出金
2-05-03	国民健康保険事業の健全な運営	03160_03	国民健康保険保険者支援事業繰出金
2-05-03	国民健康保険事業の健全な運営	03160_04	国民健康保険事業その他繰出金
2-05-03	国民健康保険事業の健全な運営	03458_01	医療療養給付費負担金
2-05-03	国民健康保険事業の健全な運営	03458_02	医療健診事業
2-05-03	国民健康保険事業の健全な運営	03458_03	針灸事業

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	03520_01			
事業名(行目名称)		生活困窮者自立支援事業費	細事業名	生活困窮者自立支援事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	社会保障の充実				
	基本計画	生活の安定と自立に向けた支援	担当課	生活福祉課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市内生活困窮者世帯		数値	1000			
	手段(どうやって)	委託先である(社福)新居浜市社会福祉協議会内に相談支援窓口(自立相談支援センター)を設置し、自立相談支援事業を実施している。生活困窮者と面談を行い、生活及び就労等に関する問題点を把握整理し、関係機関と連携してその問題解決を進め、早期の自立に向けて本人の状況に応じた包括的かつ継続的な支援を行う。 また、離職などにより住居を失った方に対し住居確保のために家賃などを支給し就職に向けた支援を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	生活困窮者が困窮状態から早期に脱却できるよう本人の状況に応じた包括的かつ継続的な支援を実施するとともに、生活困窮者の発見や関係機関のネットワークを構築できるような地域づくりを目的とする。 生活基盤である住居を確保することで、積極的な就職活動を後押しし、自立につなげる。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		32,827	30,018	40,080	36,452	○自立支援相談事業費 委託料 一式 委託先 新居浜市社会福祉協議会 17,509千円 ○住居確保給付金事業費 12,819千円		
財源	県・国支出金	24,692	22,512	30,058	30,060			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	8,135	7,506	10,022	6,392			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
新規相談受付件数(月平均)			目標値	30	30	30	30	30
			実績	27.1	74	63.5	49.3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
<p>・生活困窮者の状況に応じ、包括的、継続的な相談支援を実施した。今年も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症のため、相談件数は変わらず、貸付件数も11月まで延長したことにより昨年並みとなっている。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
<p>・新規相談件数は、新型コロナウイルス感染症の状況により変動すると思われるが、生活困窮者がそれにより急に減少するとは思われない。その方たちへの支援は質・量ともに増えていくものと思われる。</p>								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>・今年度も国の施策を有効に活用しながら、生活困窮者の支援をできる限り行った。しかし生活困窮者は目に見えて減っているとは思われず、今後とも計画的な支援が必要である。</p>								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	00315_01		
事業名(行目名称)		介護保険システム改修事業費	細事業名	介護保険システム改修事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	社会保障の充実			
	基本計画	介護保険制度の円滑な運営	担当課	介護福祉課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	65歳以上の高齢者		数値	38,089人		
	手段(どうやって)	介護保険システムを改修する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	所得指標見直しに対応するためシステムを改修する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		13,860	11,374	11,374	11,374		
財源	県・国支出金	4,140	4,140	4,140	4,000		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	9,720	7,234	7,234	7,374		
11374千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
システムの改修		目標値	0	0	0	1	1
		実績	0	1	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
特になし。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
翌年度は特定個人情報データ標準レイアウト改版分の改修のみの予定であるため予算は縮小する見込みである。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
法改正に対応しシステムを改修することで円滑に事務が行えた。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	00344_01		
事業名(行目名称)		介護相談員派遣事業費		細事業名	介護相談員派遣事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉		施策	社会保障の充実			
	基本計画	介護保険制度の円滑な運営		担当課	地域包括支援センター			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	施設定員数		数値	1750人			
	手段(どうやって)	入所施設を定期的に訪問し、利用者の声を聞き、相談に応じるほか、サービスの現状を把握し、改善点を提案する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	公正かつ中立的な立場で、利用者と事業者の間の橋渡し役となり、利用者の保護やサービスの質的向上を図り、利用者のトラブルや苦情の未然防止を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		99	2,165	2,165	75	相談員報償費等 177万3千円 研修旅費 19万6千円 出席負担金 11万円 通信運搬費 5万5千円		
財源	県・国支出金	62	1,249	1,249	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	500	500	0			
	一般財源	37	416	416	75			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
施設訪問回数			目標値	650	650	325	650	650
			実績	641	0	0	0	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや低い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する					
高齢者虐待を未然に防止し、施設サービスの質の向上を図る施設と利用者の橋渡しの役割を担っている相談員の活動だが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、重症化リスクの高い高齢者を対象としている施設への訪問が困難となり、活動実績がない。活動の目的が立っていないため、リモート面会などの活動方法の見直しが必要ではないかと感じる。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
研修会などの開催より相談員の資質向上を図りながら、活動再開に向けて取り組んで行く必要がある。また、リモート面会などの新たな手段を検討する必要があると考える。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
介護サービス相談員の活動は、利用者の疑問や不安をサービス提供者に伝え、サービスの質的向上を図り、不安や解消や虐待の未然の防止につなぐ活動であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、感染リスクの高い対象者の多い施設での活動を中止させざるを得ない状況が続いている。リモートを利用するなど今後の活動方法を見直す必要があると考える。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	03347_01		
事業名(行目名称)		(施)介護保険事業特別会計繰出金	細事業名 (施)介護保険事業特別会計繰出金				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策 社会保障の充実				
	基本計画	介護保険制度の円滑な運営	担当課 介護福祉課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	65歳以上の高齢者		数値	38,089人		
	手段(どうやって)	一般会計から介護保険事業特別会計に繰り出す。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	介護保険事業特別会計で実施している各種事業を行うため、法定分を一般会計から繰り出す。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	25331千円	
経費		33,321	25,331	25,331	22,988		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	33,321	25,331	25,331	22,988		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
0			目標値	0	0	0	0
			実績	0	0	0	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
特になし。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
介護保険事業特別会計に必要な各種事業を実施するため、継続して実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
介護保険事業特別会計に必要な各種事業を実施することができた。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	00196_01		
事業名(行目名称)		特定健康診査等事業費	細事業名	特定健康診査等事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	社会保障の充実			
	基本計画	国民健康保険事業の健全な運営	担当課	国保課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	40歳～74歳の国保加入者		数値	20,164人		
	手段(どうやって)	①特定健康診査の実施、特定健診未受診者対策等の保健事業に取り組む。 ②健康診査結果説明会を開催し、健診結果に基づく保健指導。 ③特定保健指導及び糖尿病腎症等の重症化予防の対象者への保健指導。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	40歳以上の国保加入者を対象に生活習慣病発症及び重症化予防を目的とした効果効率的な保健事業に取り組むことで、個人の健康増進と国保医療費の抑制を目指す。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		67,929	99,107	99,107	78,973	特定健康診査等事業 79,452 特定健診未受診者対策 10,398 結果説明会 2,078 特定保健指導 4,351 重症化予防 2,828	
財源	県・国支出金	30,991	44,882	44,882	27,820		
	地方債		0	0			
	その他	0	54,225	54,225	0		
	一般財源	36,938	0	0	51,153		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
結果説明会参加者数		目標値	1800	1800	648	1800	1800
		実績	1653	1293	332	998	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
①新型コロナウイルス感染症拡大対策により公民館会場が使用中止となり集団健診が3回中止となっている。また、特定健診受診勧奨を実施しているがワクチン接種の影響により受診率に影響があると思われる。9月1日から開始したWEB予約はターゲットとしている40～64歳の申し込みが順調である。 ②集団健診の1か月後に行われる結果説明会は、同様に3回中止。個別健診結果説明会を増設したり、訪問や電話等での保健指導を強化している。 ③保健指導は新たに医療費・介護費の削減効果が見込める高血圧対策及び心疾患重症化予防の取り組み							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
①WEB予約の推進により「健診も医療も未受診で、自覚症状のないまま重症化している可能性のある」40～64歳の受診率アップをめざす。 ②オンラインによる保健指導体制を整える。 ③家庭血圧推進事業を実施(血圧手帳の配布・かかりつけ医との連携) ※各事業費は特別調整交付金の対象である。また、取り組みに対して、保険者努力支援制度や特別交付金3号交付金(県2号繰入金分)によりポイント制でインセンティブが付与される。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
①集団健診は3密対策を行いおおむね計画どおりに実施できたため、コロナ感染拡大前の平成30年度の受診率を上回る見込みである。9月から開始したWEB予約は、ターゲットとしていた40～64歳だけではなく、65歳以上の予約者が約4割を占めており、年齢にかかわらず利用された。 ②結果説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大対策により8回中止したため、訪問や電話等での保健指導を強化した。 ③高血圧対策及び心疾患重症化予防のため「血圧記録手帳」を配布し、家庭血圧記録をツールに受診勧奨を実施した。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	00369_01		
事業名(行目名称)		傷病手当費	細事業名	傷病手当費			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	社会保障の充実			
	基本計画	国民健康保険事業の健全な運営	担当課	国保課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市国民健康保険加入者のうち、被用者		数値	約8,000人		
	手段(どうやって)	コロナ傷病手当金の支給					
	目的(どんな状態にしたいのか)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大をできる限り防止するため、労働者が感染した場合(発熱等の症状があり感染が疑われる場合を含む。)に休みやすい環境を整備するため。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		80	5,120	5,120	546	コロナ傷病手当金:5,120千円	
財源	県・国支出金	80	5,120	5,120	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	546		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
コロナ傷病手当金支給者		目標値	-	0	80	80	30
		実績	-	0	1	6	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
特になし							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
国による財政支援が継続されるのであれば、現状のまま継続する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
国による財政支援が継続中であるため、現状のまま事業を進めていくことが適当である。							

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	03160_02		
事業名(行目名称)		(施)国民健康保険事業特別会計繰出金	細事業名	国民健康保険財政安定化支援事業繰出金			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	社会保障の充実			
	基本計画	国民健康保険事業の健全な運営	担当課	国保課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	国民健康保険一般被保険者		数値	22740		
	手段(どうやって)	一般会計からの繰り出し					
	目的(どんな状態にしたいのか)	国保財政の安定化のための保険料収入以外の財源の充実					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		196,598	192,063	192,063	192,063	繰出金 192,063千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	196,598	192,063	192,063	192,063		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
地財措置の金額を繰入れるため成果指標はなし		目標値	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
問題なし。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
地財措置予定金額を計上する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
国民健康保険事業特別会計への繰り出しにおいて、地方財政措置が講じられるものであり、その交付額に応じた繰入れを行うことができた。							



## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	03160_03	
事業名(行目名称)		(施)国民健康保険事業特別会計繰出金	細事業名	国民健康保険保険者支援事業繰出金		
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	社会保障の充実		
	基本計画	国民健康保険事業の健全な運営	担当課	国保課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	国民健康保険一般被保険者		数値	22740	
	手段(どうやって)	一般会計からの繰り出し				
	目的(どんな状態にしたいのか)	国民健康保険財政の基盤強化のための保険料収入以外の財源の充実				
III 投入費用						
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		215,232	209,008	209,008	209,008	
財源	県・国支出金	162,483	156,756	156,756	162,614	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	52,749	52,252	52,252	46,394	
209,008千円						
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度
法定による繰入のため指標なし		目標値	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			
問題なし。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
保険基盤安定繰出金の次年度予想について適正に算出し、予算要求に組み込んでいく。						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
国民健康保険法第72条の4の規定に則した繰入れを行うことで、財政基盤の安定に資することができた。						

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	03160_04			
事業名(行目名称)		(施)国民健康保険事業特別会計繰出金	細事業名	国民健康保険事業その他繰出金				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	社会保障の充実				
	基本計画	国民健康保険事業の健全な運営	担当課	国保課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	国民健康保険一般被保険者		数値	22740			
	手段(どうやって)	一般会計からの繰り入れ						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市の単独施策実施によって減額されている国庫支出金相当額等を繰り入れ、保険料負担の公平を図る。保険料歳入不足分を一般会計からの繰入で補填し、保険料の急激な上昇を緩和する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		69,599	203,969	203,969	135,485	地方単独事業波及増減額分: 72,580千円 納付金不足分(赤字補填): 131,389千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	69,599	203,969	203,969	135,485			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
地方単独事業波及増減額分及び歳入不足分			目標値	173,422,000円	69,599,000円	203,969,000円	203,969,000円	173,347,000円
			実績	151,162,150円	69,599,000円	-	111,210,440円	-
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
問題なし。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
納付金不足分(赤字補填)については、保険料の見直しにより減少させていく。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
市の単独施策事業実施によって減額される国庫支出金相当額、基金の取崩しを行ってもなお不足する歳入額を繰り入れすることによって、被保険者間の負担の公平化を図ることができた。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	03458_01			
事業名(行目名称)		後期高齢者医療対策費	細事業名	医療療養給付費負担金				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	社会保障の充実				
	基本計画	国民健康保険事業の健全な運営	担当課	国保課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	後期高齢者医療保険被保険者		数値	19,905人			
	手段(どうやって)	広域連合に対して、一般医療費の1/12の額を納付する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	愛媛県後期高齢者医療広域連合が保険者として、後期高齢者医療制度の適正かつ円滑な運営を行う。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,505,177	1,560,656	1,560,656	1,560,655	療養給付費負担金 1,560,656千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	1	1	70,479			
	一般財源	1,505,177	1,560,655	1,560,655	1,490,176			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
広域連合への適正な負担(%)			目標値	100	100	100	100	100
			実績	100	100	75	100	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
特になし								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
保険者である愛媛県後期高齢者医療広域連合に対し、決定の定率負担額を納付する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
保険者である愛媛県後期高齢者医療広域連合に対し、決定の定率負担額を納付する。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	03458_02		
事業名(行目名称)		後期高齢者医療対策費	細事業名	医療健診事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	社会保障の充実				
	基本計画	国民健康保険事業の健全な運営	担当課	国保課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	後期高齢者医療保険被保険者		数値	19,905人			
	手段(どうやって)	後期高齢者に対し受診券を発行し、健診を受けてもらう。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	後期高齢者の生活習慣病等の早期発見に努め、健康能力の保持及び健康意識の向上を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		14,257	24,520	24,520	14,418	後期高齢者医療健康診査負担金 24,520円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	14,257	24,520	24,520	14,418			
	一般財源	0	0	0	0			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
検診受診率(%)			目標値	6	7	9	9	10
			実績	7.1	8.2	2.4	8.2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
健診後の適切な治療に繋げるため、集団健診ではなく健診委託医療機関での個別健診を推奨しており受診率は低い								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
高齢者の生活習慣病の早期発見に努め、健康能力の保持及び健康意識の向上を図るため、継続して事業を実施する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
保険者である愛媛県後期高齢者医療広域連合から、事業の一部を受託している。受診日程の自由度や交通手段の面、また健診後の適切な治療に繋げるため、個別健診のみ実施している。受診率向上のため、広報誌やホームページからの案内だけでなく、かかりつけ医の先生から直接健診の案内文書を手渡してもらう等工夫をしているが、コロナ禍の影響で受診控えもあり、受診率の伸び悩みもみられる。								

## 令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	03458_03		
事業名(行目名称)		後期高齢者医療対策費	細事業名	針灸事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	社会保障の充実				
	基本計画	国民健康保険事業の健全な運営	担当課	国保課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	後期高齢者医療保険被保険者		数値	19,917人			
	手段(どうやって)	はり・灸施術に際し、施術料の7割を新居浜市が負担する。(施術回数上限あり)						
	目的(どんな状態にしたいのか)	後期高齢者医療保険被保険者の健康の保持増進、国民健康保険被保険者と同様に、はり・灸助成を受けられるようにする。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		16,544	18,269	18,269	19,052	針灸施術扶助費 18,220千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	7,668	7,425	7,425	8,125			
	一般財源	8,876	10,844	10,844	10,927			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
1人当たり医療費(円)			目標値	950000	955000	950000	950000	950000
			実績	957057	959200	—	962874	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
医療費の給付状況は、愛媛県後期高齢者医療広域連合から翌年度の報告となるため中間値は未入力								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
長寿社会に貢献された被保険者の健康増進の取り組みの一つとして継続実施する								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
長寿社会に貢献された被保険者の健康増進の取り組みのため、継続して事業を実施する。ただし、施術回数が他自治体と比較して多いことから、回数の削減について見直しを検討した。令和3年10月21日開催した第2回新居浜市国民健康保険運営協議会において、施術の上限を月15回としていたものを、令和4年度から月10回に削減することを決定した。								